

サービス評価結果報告書

中津市福祉部介護長寿課 あて

提出日: 令和 8 年 5 月 7 日

サービス種別 (該当に○)	定期巡回・随時対応型訪問介護看護			
	○	小規模多機能型居宅介護	○	介護予防小規模多機能型居宅介護
	看護小規模多機能型居宅介護			
	(介護予防)認知症対応型共同生活介護			
事業所番号	4490300094			
事業所名	小規模多機能ホーム小祝			
法人名	株式会社リーフ			
代表者名	阿部優喜			
事業所所在地	(〒871-0078) 大分県中津市小祝 525 番地 277			
担当者名	佐藤真里子			
連絡先	電話	0979-23-7000	mail	koiwaisyoukibo@gmail.com
	FAX	0979-24-7007		

以下のとおり、資料を添えて提出します。

運営推進会議等での評価 実施日	令和 8 年 3 月 26 日
-----------------	-----------------

「※要提出」の書類を添付します。

定期巡回・随時対応型訪問介護看護	
<input type="checkbox"/> ※要提出	・(別紙1) 自己評価・外部評価 評価表……………公表

小規模多機能型居宅介護(介護予防含む)	
	・(別紙2-1) スタッフ個別評価……………事業所にて保管
<input checked="" type="checkbox"/> ※要提出	・(別紙2-2) 事業所自己評価……………公表
	・(別紙2-3) 地域からの評価……………事業所にて保管
<input checked="" type="checkbox"/> ※要提出	・(別紙2-4) サービス評価総括表……………公表

看護小規模多機能型居宅介護	
	・(別紙3-1) 従業者等自己評価……………事業所にて保管
	・(別紙3-2) 事業所自己評価……………事業所にて保管
<input type="checkbox"/> ※要提出	・(別紙3-3) 運営推進会議における評価……………公表

(介護予防)認知症対応型共同生活介護	
<input type="checkbox"/> ※要提出	・(別紙2-2) 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール……………公表

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表 令和7年度(2026年3月)

法人名	株式会社リーフ	代表者	阿部 優喜	法人・事業所の特徴	「小祝」と名称にあるように地域との関わりを大切に、運営推進会議を通じて情報を収集し、地域行事への参加を支援することで、利用者の社会生活の継続に努めています。一日でも長く自宅で過ごすため、運動機能向上体操を実施し、心身の機能向上に繋がるレク活動を積極的に取り入れています。
事業所名	小規模多機能ホーム小祝	管理者	佐藤真里子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	5人	0人	0人	1人	0人	4人	0人	12人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	事業所評価で出来ていない点に関して再検討を行い職員ひとり一人のレベルアップのための研修や勉強会を計画したい。	質の高いケアに繋げるためDX化を行い生産性向上に努めている。統一された介護技術はケアの安全と効率が向上し利用者向き合う時間がふえたと感じる。	内容については、じっくりと読まないと難しいな。また質問内容と答え方がわかりにくいのもありますね。	指定の内容での評価のため、理解が難しい文章があります。わかりやすい説明が必要だと感じました。
B. 事業所のしつらえ・環境	地域の方が立ち寄りやすい施設になるようにイベントのお知らせを施設前の掲示板にて行う。	施設はイベントのお知らせを掲示し、地域の回覧板を利用した。地域を回りポスティングを行い広報活動も実施できた。	以前は施設の外で匂いがあったが今は改善されて雨天の時でも感じることはなくなりました。施設は立ち寄りやすいです。	施設周囲の環境整備を行い植物など植えることで季節感を感じ心地よい空間になるようにしたい。
C. 事業所と地域のかかわり	健康体操の際に地域の方と一緒に過ごす機会をつくる。	今年は、週一体操の参加の機会が多くありました。包括主催の音楽療法の参加もできました。光こども園の園児の来訪にて交流もできた。	地域の方も利用者の方も体操や音楽を通じて交流ができました。職員の方も一緒に参加されよかったです。	小祝憩の家である週一体操に継続して参加できるように時間の調整を行う。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	戸外への外出の機会を増やし地域との関りを増やす。地域でのイベントにご利用者と参加し交流を図る。	お神楽の太鼓や道神楽舞の方には傍に来ていただきました。また中津市内の行事には積極的に参加出来ました。	今年も施設前までお神楽の太鼓が入って利用者の笑顔がみられてよかったです。春祭りの開催が予定されているので楽しみにしています。	ご利用者のご家族と夏と秋祭りの開催で職員の子供さんとも交流ができました。地域の方と一緒に楽しめるお祭りなどの行事を継続したい。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議でのご意見をもとに地域の困りごとに関り協力したい。	メンバーの方からのご意見を参考に地域の方の困りごとの相談に応じております。	自治委員や民生委員もメンバーの中に数名おり、地域の独居老人の声掛けや施設の案内のちらしの配布がありました。	推進会議のメンバーの方々のご意見を施設内で話し合い、今できる支援に繋げた。これからも随時ご意見を事業所の運営に生かす。
F. 事業所の防災・災害対策	防災士の助言をもとに避難訓練を考える。	防災士の方の意見により城北中学校の避難場所の見学に行き考察を行った。地域の防災勉強会にも参加し施設に持ち帰り周知できた。	防災士の意見も必要ですが、施設内部の事はよく理解できないので事業所の職員の中にも防災士の資格を取ったほうが良い。	防災士の資格習得については検討したい。実情にあった防災・災害対策をおこないたい。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和8年1月15日(13:00~14:00)
------------------	-----	------------------------

1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	常勤9名
-------------------	------	------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	9人	0人	0人	9人

前回の改善計画	利用開始時に認知症がある場合は情報を整理しながら支援に繋げるため家族との連絡を頻繁に行うようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用開始の際には家族に情報を確認し本人の状態を観察しながら情報の修正を行うことが出来た。

◆今回の自己評価の状況

		よく できている	なんとか ばあいできて いる	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	6	0	0	9
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	7	0	0	9
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	3	6	0	0	9
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	6	0	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 新規利用者の利用開始の際にケアマネが得たアセスメント情報や家族からの困りごとの相談内容も含め生活課題、留意事項について職員で共有し必要なサービスの提供に努めている。体験サービスを利用いただき、ご本人の心身の状態を観察しご本人の意向にあったペースで進めている。また、通い訪問の場面では不慣れた環境での不安や心配事を職員全員で共有し受け止めている。他のご利用者との交流やレクリエーションの参加は本人の興味や関心にあわせて声掛けをおこなっている。 通いの送迎や連絡帳を通じての家族からの相談には迅速に対応できるように管理者とケアマネージャーで体制を整えている。記憶の保持が難しいご利用者の際には、通いで出来事を写真にして家族の方の心配がないように工夫している。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 情報共有が十分でなく支援方針が一部明確でないことで対応が統一性に欠けてご利用者が混乱する場面がある。事前情報の整理方法や共有の確認が必要である。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
新規ご利用者の相談からサービス開始までの期間が短く情報が不十分なことや申し送り内容の理解度が各職員で違いがありケアの統一に繋がっていなかった。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和8年 1月15日 (13:00~14:00)
2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	常勤9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	9人	0人	0人	9人

前回の改善計画	・目標達成のために連携する事業所 (福祉用具、訪問看護) 多職種での情報共有を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	・以前は共有できていなかった情報も、報告書やモニタリング、ユニット会議で共有を図れた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか	1	6	2	0	9
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	7	1	0	9
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	9	0	0	9
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	7	0	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ご本人の生活歴や価値観を踏まえてそれぞれの目標はDX化によりいつでもケース記録・支援経過等の確認ができるため目標に繋がられているのか知ることができる。また日常会話の中から本人の「今の目標」も変わらないことの理解もできる。 ・目標に応じた支援内容が一定のことの繰り返しで新しいことへの発想が少ないと感じることもある。 ・毎月の定例会議で各担当者より報告や提案があり日々変化する心身の状況を見極めた自立支援を行っている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・目標に応じた支援はできているが、ご本人の意欲低下のため目標に対しての活動の理解が難しい場合がある。その場合は職員が関わり合いながら進めることで可能であるが、職員個々の能力の差もありご利用者に対する声掛けや工夫が不十分なこともある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
高齢になると理解することが難しくなりご本人も心穏やかではないこともあると感じるため、やる気の出る声掛けに身振り手振りも含めた動きのある支援を行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 令和8年 1月15日 (13:00~14:00)
------------------	------------------------------

3. 日常生活の支援	メンバー 常勤9名
------------	-----------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	9人	0人	0人	9人

前回の改善計画	体調の変化時には、ご本人様からの聴き取りも含め多職種での意見交換を行い最適な支援内容を検討する。
前回の改善計画に対する取組み結果	認知症が進んでくると、うまく伝えることが困難になるため 多くの職員の意見をふまえて臨機応変にできた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	7	2	0	9
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	6	0	0	9
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	8	0	0	9
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4	5	0	0	9
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	6	0	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・以前の暮らし方については、利用者や職員によりバラツキがある。 ・ご本人に合わせた食事形態(刻み、極小刻み・ペースト)などや入浴(機械浴、清拭、足浴)、排泄は個々に合わせた声掛けを行い不快な思いのないように配慮できている。 ・ご本人の表情や態度、言動より体調の変化を読み取り、複数の職種で共有しミーティングに繋げている。また、体調の変化などの際は看護師に相談し即時の対応も調整できている。 	

できていない点	200字内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・以前の暮らし方については、利用当初は紙の情報のみであった。ご本人より聴くことで増やせているが、認知症や加齢のために正しい情報であるかは判断が難しい、またご家族もすべてを把握していないことが多い。 ・以前の話をすることで利用者にとっては嫌なこともあるため配慮が必要なこともある。また情報をとるための時間が取れずにケア優先になることがある。 ・口頭での伝達で即時性はあるが記録が抜けていることがあり後日確認することがある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
各利用者のケアが優先になり一人一人の方に寄り添う時間が作れるように職員で時間配分を考えてみる	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令8年 1月 15日 (13:00~14:00)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	常勤9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取組みましたか?	0人	9人	0人	0人	9人

前回の改善計画	ご利用者それぞれの民生委員の方には必要に応じて包括支援センターを通じて相談や助言を頂く。
前回の改善計画に対する取組み結果	サービスが始まると課題が解決されるためその後は、かかわりが少なくなることが多い。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2	6	1	0	9
② 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	8	0	0	9
③ 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	6	3	0	9
④ 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	4	5	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・本人のこれまでの生活スタイルや人間関係をご本人、家族より聴くこと出来ており理解している。 ・小祝地区のご利用者は地域の週一体操や地域のお神楽には参加し交流の機会がある。中津市内のイベントにはできる限り参加し社会参加の機会継続を図っている。 ・利用していない時間については、同居の家族から連絡ノートや送迎の際に話を聞くことが出来ている。また「どこどこサービス」のGPSによる安否確認も可能である。 ・今の暮らしに必要な地域資源としての有償ボランティアや介護タクシー、ヤクルトの安否確認、近隣のかたのかかわり等の理解はできている。 ・利用者の方の徘徊があった場合は地域の方と協力し検索することもあり必要な時は連絡できている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の直接かかわっていない時間において、独居の4名中2名については、だいたいの事しか理解できていないまた、家族同居15名の中で家族が日中仕事で不在の方は家族もよくわからない様子。 ・利用者の今の暮らしに必要な地域資源でインフォーマルなものは把握できていない方もいる。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
地域での生活を支えるために必要な支援を行うために家族も施設と一緒にかかわってほしいため協力をお願いする	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和8年1月15日(13:00~14:00)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	常勤9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	9人	0人	0人	9人

前回の改善計画	ご利用者のケアを優先するため業務の時間が不足している。 記録方法の改善をおこなう。
前回の改善計画に対する取組み結果	記録はDX化により効率よく入力し時間短縮できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	7	0	0	9
②	ニーズに応じて「通い」「宿泊」「訪問」が妥当適切に提供されていますか?	3	6	0	0	9
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	3	6	0	0	9
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	6	0	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・基本的には通い、訪問、宿泊を組み合わせサービスを提供しているが、身体状況により福祉用具、訪問看護、有償ボランティアの利用も組み合わせている。毎月ケアマネによるモニタリングにより必要に応じて民生委員、地域包括センターとの連携もできている。 ・日々の関りや記録から得られた本人の変化について職員内で共有しミーティングで支援内容の振り返りが出来ている。買い物支援だけ、入浴や配食だけのニーズに合わせた短時間の柔軟な支援も行っている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・泊りサービスが週末に希望が重なる際には調整しそれぞれの希望に合うようにはできたが難しいときもある。また、送迎時間なども希望時間が重なると車の台数や人員の都合もあって調整が必要である。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
在宅生活の継続のためには、家族・介護事業所だけの支援だけに限らず必要に応じてインフォーマルな資源の活用も考え提案をおこなう。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和8年 1月15日 (13:00 ~14:00)
6. 連携・協働	メンバー	常勤9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	0人	9人	0人	9人

前回の改善計画	地域の会議の参加は業務を調整し職員が出席できる機会を増やす。
前回の改善計画に対する取組み結果	業務調整がむずかしく会議の参加は一部の職員しかできていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1	4	4	0	9
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0	4	5	0	9
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	1	5	3	0	9
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	2	5	2	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・その他のサービス機関との会議はご利用者の状態変化にあわせてケアマネや管理者が開催しより良いサービスに繋げている。南部地区のネットワーク協議会に参加し地域の福祉課題について話し合い結果は職員と共有できている。 ・小祝の週一体操、お神楽、城北中学校の合唱コンクールや、保育園の運動会の見学などできる限りの参加は出来ている。 ・施設前の看板に「介護の相談をお受けします」と掲載し、施設でマルシェを開催することで地域の高齢者の方がシルバーカーで来所する機会がある。近くの光こども園の園児さんの来訪も定期的（七夕、敬老の日、花まつり）にある。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入することの
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の会議の参加は、管理者や担当者の出席が多く職員の参加する機会は少ない。 ・日常の業務やサービスのために人員がぎりぎりであるため。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
地域の会議には職員が参加でき地域との意見交換の機会を図る。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 8 年 1 月 15 日 (13:00~14:00)
7. 運営	メンバー	常勤 9 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	9 人	0 人	0 人	9 人

前回の改善計画	週一体操の参加のために余裕のある職員配置を計画するように心掛ける。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者の状態にあわせた週一体操の参加は、前年より増えたとおもわれる。

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	0	6	3	0	9
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	7	0	0	9
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	6	1	0	9
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	2	4	3	0	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 職員は業務での気づきや改善点をミーティングで発言したり、半年に一度の個人面談の時に事業所の要望を伝えることも出来ており管理者がまとめて社長に伝えて改善や改善要綱に取り上げている。 利用者ご本人や家族からの直接のご意見、要望、苦情は、管理者に迅速に報告し改善に繋げている。 地域の方のご意見は主に推進会議の際にいただくことが多く可能な範囲で反映させている。 地域の週一体操に利用者と一緒に参加し施設の存在を知っていただくよい機会になっている。 災害時の避難先の確認のため城北中学校を訪問し教頭先生の助言のもと状況確認を行うことが出来た。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> コロナ以降は防災訓練に地域の方の参加依頼を行っていない。 地域の方と協働した取り組みは難しい。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
消防の避難訓練の際に地域の方の参加協力の依頼を行い災害が発生した場合は地域との連携ができるようにしたい。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和8年1月15日(13:00～14:00)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	常勤9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	9人	0人	0人	9人

前回の改善計画	事故、ヒヤリハットに関するミーティングに参加出来なかった職員の意見や理解についても記録し周知させる仕組みに変更する。
前回の改善計画に対する取組み結果	参加していない職員との差が出来ないために資料を読むだけでなく直接伝達をおこなった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	1	4	4	0	9
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	1	6	0	9
③	地域連絡会に参加していますか	0	4	5	0	9
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	6	2	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の全体会議や小規模会議にて勉強会を行っている。職場外の研修についても研修案内を回覧したり所定の場所に案内を掲示して広く通知しているため各個人のスキルアップに繋がる研修の選択が可能であり業務に支障のない範囲で参加できている。また、zoomでの参加機会が増え時間の調整が可能になった。 ・リスクマネジメントでは、ささいなことでもヒヤリハットの記入を行うことで事前に検討会を開き事故防止や安全確保に努めている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の興味ある研修がないため参加の機会がない。 ・自発的に研修参加を希望する職員が少ない。また、自主性のある職員とそうでない職員の差が大きい。 ・ヒヤリハット報告の再発防止の徹底が十分でないこともある(落葉など) 	

次回までの具体的な改善計事故画	(200字以内)
日中の研修は、人員に余裕がないため参加の機会が少ない。またzoom参加での機会はあるが夕方や夜間の研修参加は難しい。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和8年1月15日(13:00~14:00)
9. 人権・プライバシー	メンバー	常勤9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	0人	9人	0人	0人	9人

前回の改善計画	成年後見制度や安心サポートについて勉強会を継続して行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	成年後見制度などの勉強会は継続して行い対象者に提案が出来るようにしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 身体拘束をしていない	6	3	0	0	9
② 虐待は行われていない	6	3	0	0	9
③ プライバシーが守られている	5	4	0	0	9
④ 必要な方に成年後見制度を活用している	4	5	0	0	9
⑤ 適正な個人情報の管理ができています	5	4	0	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束防止委員会と高齢者虐待防止委員会にて毎月の会議で不適切な対応の発生がないよう注意喚起を行っており報告はない。また、介護者の虐待防止のため3か月毎にチェックリストの記入確認を実施している。 ・身体的、生活空間のプライバシーや個人記録(個人情報)は鍵付きの保管庫の使用やiPad使用の際はパスワードと個人ナンバーが必要で管理されている。SNSでの発信に際しても書面での同意を得た利用者限定し目的を明確にして掲載している。 ・成年後見制度の利用対象者がいるため後見人と定期的に連絡を取り情報共有を行い適切な連携が取れているし行政の助言も受けている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・プライバシーの身体的配慮は職員間で意識の差が見られる場面がときどきあり対応の統一が不十分な部分もある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
身体的配慮に関しては職員個々の判断に頼った対応になることが多いため、マニュアルの周知を徹底する。	